

令和8年度 中学2年 シラバス

□科目	技術・家庭 (技術)			
□授業時数	技術 1時間/週			
□教材	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて(開隆堂)			
□学習到達目標	『材料と加工の技術』『生物育成の技術』『エネルギー変換の技術』『情報の技術』の4つの技術について学習し、実践的・体験的な活動を通して技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができるようにする。そして技術に関わる問題を見いだして解決する力や実践的な態度を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指すことができるようにする。			
□成績評価基準	1学期末・2学期末・3学期末の定期テスト、実習における製作物、平常点(授業態度、ノートや課題の提出状況)			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4月	エネルギー変換 機械	◎機械要素と機械構造 ①機械要素 ねじ、ばね、軸・軸受け、座金、スペーサ	場所：教室
	5月		②機械構造 ・回転運動を伝えるしくみ 摩擦車、プーリー・ベルト 歯車、スプロケット・チェーン ・運動を変化させるしくみ リンク装置、カム装置 ◎動力機械 ①反動の力を利用した動力 ・ゼンマイ	プリント課題 カムの設計
	6月	エネルギー	②自然の力を利用した動力 ・原動機 流体機械、熱機関 ◎エネルギーの利用 ①エネルギーの利用 ・エネルギーとは ・エネルギーの形態 ・エネルギーの種類 ・エネルギーの変換と利用 ②エネルギー利用の問題と対策 ・環境問題 ・エネルギー危機 ・これからのエネルギー利用 ・新技術の研究	プリント課題 動力機械について プリント課題 エネルギーについて
	7月			定期テスト① 授業ノート提出
	9月	電気	◎電気エネルギーの利用 ①電気の基本と電気機器の安全 ○電気の基本 ・電気の三要素 ・電気がする仕事 ・電気の流れ方 ・物質と電気抵抗 ○電気機器の安全 ・安全限度 ・電気機器の点検 ・安全装置 ・電気機器の正しい使い方	

令和8年度 中学2年 シラバス

□科目	技術・家庭 (家庭)			
□授業時数	家庭：1時間/週			
□教材	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生 (開隆堂)			
□学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割と特徴を知ることができるようにする。 ・災害に備えた住まいや防災持ち出し袋などについて知ることができるようにする。 ・衣服の基本的な役割と特徴を知ることができるようにする。 			
□成績評価基準	定期テスト, ワークノート, 提出物, 平常点 (ワークノート, 授業態度, 忘れ物等)			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4月	オリエンテーション B 住生活 3. 自然とともにある住生活 4. 安全で健康的な住生活	授業内容の説明 日本の気候風土と住まい 家庭内事故への備え 室内環境を健康に保つ	場所：教室
	5月	5. 持続可能な住生活	災害に備えた空間 未来を見据えた住まい方	場所：教室
	6月	1. 人間にとっての住まい 2. 生活に必要な住空間	人間の生活を支える住まい 防災食の試食 生活行為と空間 家族の変化と心地よい空間の使い方 学習のまとめ	場所：教室 場所：家庭科室
	7月			定期テスト①
	9月	B 衣生活 3. 布を用いた作品で生活を演出	生活を豊かにする物の製作 被服実習	場所：教室 場所：家庭科室

令和8年度 中学2年 シラバス

□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	10月	1. 衣服のはたらきと手入れ 調理実習	製作の基礎・基本を知ろう どうして衣服を着るのだろう 衣服は何でできているのだろう	場所：教室 場所：家庭科室
	11月		衣服の手入れ 洗濯の準備 洗濯機で洗濯してみよう 補修や収納・保管	場所：家庭科室
	12月			定期テスト②
	1月	2. 衣服の選択と着方	新たに衣服が必要になった時 既製服の選び方 自分らしい着方	場所：教室
	2月	4. 持続可能な衣生活	和服の文化にふれてみよう 環境に配慮した衣生活 学習のまとめ	場所：教室
	3月			定期テスト③